

## 事業評価調書（新規）

部課室名	水産課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	水産課長 楠本 正博 (課長補佐兼漁場整備係長) (高木 英男)	内線	4149 (4163)
------	-----	---------------------	--	----	----------------

事業種目	漁場整備開発	事業名	事業区間	総事業費	5億円
		増殖場造成事業	竹野地区	内用地補償費	- 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市竹野町地先	H18	H18	H21

事業目的	事業内容
<p>但馬地区の海底地形は単調で天然礁に恵まれないため、漁場が少ない。さらに、200海里時代の到来や外国漁船の違法操業により、水産資源の減少が懸念されている。</p> <p>沿岸漁業の主要魚種の一つであるマダイを対象に、コンクリート礁、鋼製礁を設置し、幼稚魚等の成育に適した増殖場の造成を行う。</p>	<p>対象生物 : マダイ 事業量 : 40.0ha (コンクリート礁、鋼製礁) 事業費内訳 : 国 1/2、県 1/2</p>

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>本事業は、漁港漁場整備長期計画（H14～H18）において、兵庫北地区の水産資源の維持増大を図るための主要な事業の一つとして、位置づけられている。</p> <p>近年、漁業生産額が低下しており、漁業経営は苦しい状況にある。このことから、魚価の高いマダイの増産により、漁業経営の安定化を早急に図る必要がある。</p> <p>マダイは、但馬地区沿岸漁業の重要魚種であり、また高級魚であることから地元の増殖場造成の要望が強い魚種であり、当該魚種を水揚げする漁業に携わっている受益者は、当地区の漁業者の24%である。</p> <p>当増殖場の造成によって、年間の漁業生産量は22トンの増産が見込まれ、地域の基幹産業である漁業とともに、観光産業等の地域産業全体の活性化への貢献が高い。</p>
(2)有効性・効率性	<p>水産物の増産期待量及び漁家所得の増産期待額の増大見込みから算定した費用便益比（B/C）は1.89と算定され、事業の有効性は高い。</p> <p>竹野地区は一本釣、刺網等の沿岸漁業従事者が多く、全国に先駆けてマダイの粗放的中間育成を実施している地域であり、地元漁業者、地域の期待も大きく、漁協、地域の事業実施及び施設の維持・管理に関する協力体制も確立している。</p>
(3)環境適合性	<p>増殖場造成による餌場や隠れ場の創出によって、周辺海域の生物生育環境の向上が期待される。</p>
(4)優先性	<p>竹野周辺海域は、岩礁帯の海岸線と砂質の海域であり、ごく沿岸域はマダイにとって貴重な増殖可能域である藻場、磯場が点在しているが、沖側は天然礁に乏しい。このことから、この当地区の漁場整備は、但馬地区全域の水産資源の増大にとって重要である。</p>